

# 晴風園だより

第24号  
 発行  
 特別養護老人ホーム  
 晴風園  
 編集委員会  
 広報委員会  
 〒324-0036  
 栃木県大田原市下石上1258  
 TEL・FAX 0287(29)1790



晴風園



みどりの郷

春うららかな季節がやってまいりました。本年度も皆様のご健勝を心よりお喜び申し上げます。

昨年より理事長を引き継ぎ拝命致しました。法人・施設の運営に当たっては、引き続き格別のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年、東日本は「千年に一度」とも言われる未曾有の大震災に見舞われました。災害復興が着実に進み、被災された方々が一日も早く元気になられますようお祈り致します。

海外では「百年に一度」という米国発の金融危機とその後の世界

社会福祉法人至誠会

理事長 手塚 秀夫



平成二十四年度  
 ご挨拶

同時不況に始まり、欧州発の経済不安定が続く、先行き不透明で将来見通しが危惧されています。国内では社会福祉制度や介護保険制度の見直しが進む中、依然としてデフレや景気の回復はままならない状況が続いています。

そのような中、昨秋は「晴風園みどりの郷」に続いて「晴風園」もユニット型個室の増床建設が始まりました。いよいよ今春入居開始で、施設整備により利便性が益々向上致します。

当法人は今年度も利用者様本位の施設運営に努め、地域の皆様にご喜ばれる施設を目指し、職員一同より一層努力してまいります。





## 福島からの入居者の皆様と



園長 増 渕 則 雄

今までに経験したことのない突然の大きな揺れ、鉄筋コンクリート造りの晴風園の建物が壊れるのではないかと一瞬そう思いました。幸いにも晴風園本体もみどりの郷の入居者の皆様に怪我もなく、施設の被害もありませんでした。

あの震災と福島第一原発の事故から一年が経ちましたが、被災者の多くの方が元の生活に戻れずいまだに御苦労をされております。

晴風園には、双葉町の特別養護老人ホーム「せんだん」から六名の方が避難してきました。昨年三月十九日のことでした。小さな車に入居者十八名と職員の方が分乗してこられたのです。皆様の表情は暗く緊張しきっていました。おにぎりともそ

汁ぐらいしか提供できませんでしたが、「何日ぶりかで美味しい味噌汁をいただきました。」と言ってくれた職員の方の言葉が今でも思い出されます。六人の方のうちお二人が家庭の都合等で福島の方へ戻って行かれました。数か月間の晴風園での生活でしたが、ご家族の方も数多く面会に来られ晴風園の生活にも慣れてきて交流が深まってのお別れでしたので、辛い別

れとなりました。

また、福島施設の施設では、親子が一緒に入居されていましたが、栃木に来て離ればなれになってしまったために、施設間で調整して晴風園で一緒に暮らしていただくためにお一人の方が入居しましたので、現在は、五人の方が晴風園で生活をしております。事情が許す限りいつまでも晴風園に入居していただきたいと思っています。

東日本大震災と福島第一原発事故は、大きな被害となりこれからの復旧と復興が急がれますが、双葉町の特養「せんだん」の皆様が受けた大きな被害には、慰めの言葉も見つかりません。それにいつ故郷に戻れるか見通しがつかない状況にあり、精神的な被害は計り知れません。

晴風園の五人の方々も日が経つにつれて表情も和らぎ、元氣を取り戻して日常の生活を楽しまれるようになってきました。これからも、職員一同ここから介護の支援をさせていただきます。

話は変わりますが、長年の懸案事項でありました。晴風園の本体も二十床の増床が認められ四月にはオープンいたします。みどりの郷と同様に二十の個室の施設でユニットケアを推進してまいります。新たな施設が晴風園の本体にも完成しますので、施設に合った介護を提供してまいります。施設の増床に対しまして多くの皆様からご支援ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今後とも職員一丸となって、介護の質の向上に努めてまいりますので、入居者、利用者、ご家族の皆様及び地域の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 「ここ五年を振り返って」

入所者 田中 由利子様ご家族

佐藤 雄子様

母が住み慣れた広島を離れて、大田原に移り住んだのは、平成十九年四月の中旬でした。それまで、父と二人で頑張ると、私達姉妹の介護を拒否し続けてきた両親が、これ以上二人だけの暮らしは無理と、引越を決めました。私の家庭の事情もあり、両親を我が家にむかえ入れることはできませんでしたが、同じ市内に居れば何かと手伝えることはできるものと考えて、むかえ入れることにしました。

母の脳委縮は広島に居る時から既に分っていたことでしたが、体の不自由な父が頭脳になり、母が手足となって何とか暮らしが成り立っていました。しかし、父は大田原に来てわずか数日で入院し、そのまま二月半で他界し、そこから母の混乱が始まりました。最初の二年間で述べ七回の入院と、その都度のレベル低下で、一人暮らしも不可能となり、親子で、母の住まいを求める生活になりました。

ここみどりの郷に入所させていたのは昨年の九月中旬で、半年余りが過ぎました。今から思うと、母の口癖が、「ここはいつまで居られるんや何時かおれんやにならんや？」だったように思います。心配いらないうと何度言っても同じ質問がくり返されてきました。

大田原に来て「みどりの郷」は四

ヶ所目の住まいになります。最近の三年間の出来事はほとんど覚えていないようですが、こちらに入所させていただけで一ヶ月程度で転居の不安を訴える言葉はなくなりました。その代り、それまで口にしなかった父の思い出話をするようになりました。母の認知症は日によって波が大きく、面会に行ってもほとんど話ができず、ただウロウロする日もあれば、明瞭で細かい話が理解できる日もあります。行動も理解しにくいことも多いのですが、ありのままの母を受け入れて下さっているスタッフの皆様のおかげで、驚くほど早く落ち着いた生活ができ、父の話も出来るようになり心から感謝しています。父の話では笑いも涙もありますが、やっと泣ける心を取り戻したのだとこの五年を振り返り、今はホッとしております。

母が取り戻せた普通の暮らしを支えて下さっている職員の皆様への感謝を忘れないで生活すると同時に、職員の皆様お一人お一人が健康で、ご活躍いただけることを心からお祈りしております。





## 特別養護老人ホーム晴風園が、20床増設されました。

### 地域密着型施設とは？

平成18年度に創設された制度で、介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし、近くで介護を受けられるようにと作られた施設です。大田原市にお住まいの方を対象としています。

### ユニットケアとは？

今までの集団生活とは違い、10人程度の小規模生活単位(ユニット)で、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿ったケアを行い、出来るだけその人らしい生活が継続出来るように支援する施設です。

居室



食堂



地域密着型の全室個室でユニットケアを行う新しい施設です。

## 掲示板

3月11日に起こった東日本大震災から1年が経ちました。震災後、施設内は停電になり、不安な夜を過ごしましたが、数名の職員が朝まで寄り添いました。

それから1週間後、福島県で被災されたお年寄りが避難されてきました。

急な事で病歴や家族構成などの個人情報ファイルを持ち出せず、情報が少ない中で6名の方が緊急入所されました。

最初は疲れや不安で元気がなかったお年寄りも園の生活に慣れるにつれ次第に笑顔が増えてきた様に思います。

最後になりましたが東北の一日も早い復興・復旧を職員一同願っています。



## 昼食バイキング

『四季に合わせた食材を使用しています』

デイサービス・小規模多機能では毎月1回バイキング昼食を行っています。メニューは旬の食材を活かして季節ごとにテーマを決めて提供しています。利用者の皆様の表情は生き生きとして、うれしそうな笑顔がはじけて、いつもより会話ははずみ、楽しいひと時を過ごされたように感じました。



### デイサービス

### 小規模多機能







(絵手紙教室)



(お花見)



(夏祭り)



(いもほり)



(忘年会)



(ドライブ)



(新年会)



小規模多機能



(イチゴ狩り)



(親園小学校ふれあい訪問)



(外食)



(東峰公園ドライブ)



(花見)



(毎日の)



(初詣)



(敬老会)



(リンゴ狩り)



(忘年会)

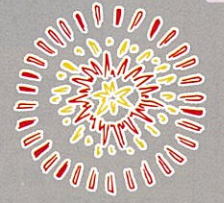
A棟



福は内〜



ふれあい訪問



なつかしいなあ



気持ちいいなあ



コンビニで一息

B棟



おいしいなあ



たまには外食もいいね



紅葉ドライブ



記念に一枚!



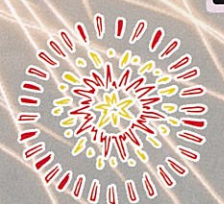
C棟



桜の木の下で



100歳の誕生日



夏まつりは楽しいね!



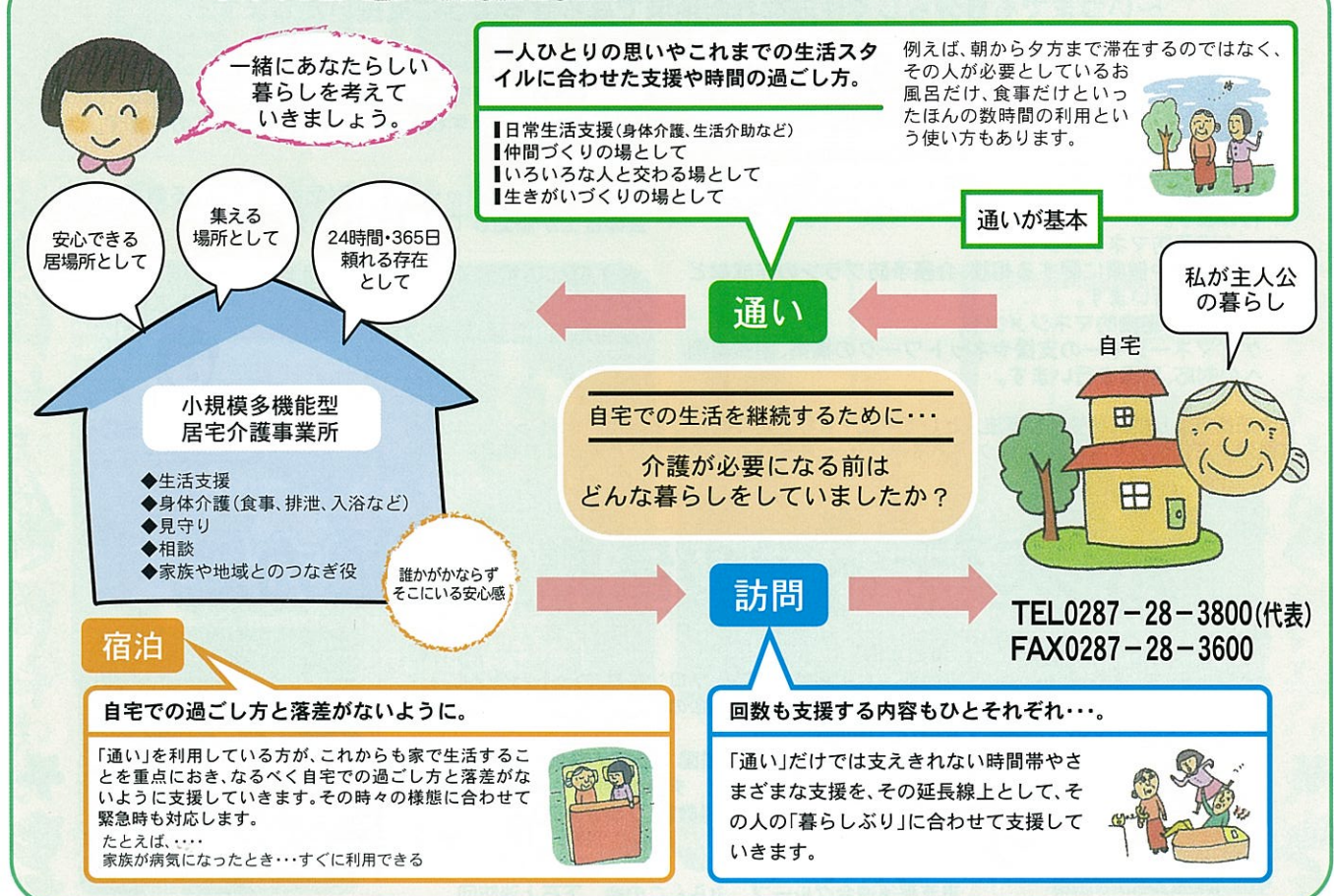
昔話に花が咲きました。



肩もみ 上手いもんだなあ〜。



# 小規模多機能型～地域密着型サービス～



## ホームヘルプサービスのご紹介 (訪問介護事業所)

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、在宅での介護のお手伝いをさせていただきます。

- 身体介護
  - ・食事の介助・入浴、清拭などの清潔の介助・トイレへの移動やオムツ交換などの排泄の介助などを行います。
- 生活援助
  - ・居室の掃除・洗濯・調理・買い物などの支援を行います。
- 通院等乗降介助
  - ・通院時に車両への乗車、降車の介助を行います。
- 福祉有償運送
  - ・受診の際に病院までの送迎を行います。

## 在宅介護支援センターのご紹介 (居宅介護支援事業所)

ご自宅での生活が安心して続けられるよう、本人・家族の状況や希望に沿った介護計画の作成、支援を行います。

- 主な業務内容
  - ・在宅介護についてのご相談をお受けします。
  - ・介護保険認定の申請や更新申請等の代行業務を行います。
  - ・居宅サービス計画(ケアプラン)の作成を行います。
  - ・介護サービス事業所等の紹介を行います。
  - ・介護サービス事業所や保健・医療・福祉等の専門機関との連絡・調整を行います。
  - ・介護保険施設等の紹介や入所の支援を行います。



お気軽にご相談ください。相談は無料です。

TEL 0287-29-2220 FAX 0287-29-2224





# 大田原市西部地域包括支援センターの紹介

～いつまでも自分らしく住みなれた地域で暮らせるようご支援いたします～

### ○主な業務内容

- 1 総合相談・支援  
介護保険だけではなく、さまざまな制度や地域資源を活用し、支援を行います。
- 2 権利擁護・虐待防止  
高齢者の人権や、財産を守る事、虐待の防止などの支援を行います。
- 3 介護予防マネジメント  
介護予防や健康に関する相談、介護予防プランの作成などの支援を行います。
- 4 包括的・継続的マネジメント  
ケアマネージャーの支援やネットワークの構築、困難事例への対応、助言を行います。



### ○認知症サポーター養成講座の開催

認知症への理解を深めた、認知症サポーターの養成を行っています。公民館、小学校、自治会などで開催しております。

### ○担当職員

主任ケアマネージャー、保健師(又は経験のある看護師)、社会福祉士が協働して業務を行います。

お気軽にご相談ください。相談は無料です。

TEL 20-2710 FAX 20-2720

担当地区:西原・親園・野崎・佐久山



※大田原市より委託を受け幹事法人として平成18年4月に開設しました。

※西部へ主任ケアマネージャー・ケアマネージャー、中央へ社会福祉士を派遣しております

# ボランティアの皆様のご協力に



デイサービス

### 【毎月定例】

草月流 大木柳香(お花) サロン中村、カットハウスなみき、星野紀美子(散髪) ぶらんこの会(ふれあい喫茶)

### 【ふれあい訪問】

西那須野幼稚園 野崎幼稚園 薄葉小学校 奥沢小学校 野崎中学校 黒磯北中学校 チロル(オカリナ演奏) 薄葉ほほえみセンター(体操教室、フラダンス) 東芝那須連合グループ

### 【イベント協力】

東芝那須連合グループ ぶらんこの会 下石上消防団 高橋家具センターひまわり館 マイマート郡司 ほほえみセンター



本體特養



みどり特養

### 【毎月定例】

薄葉ほほえみセンター(折り紙教室、体操教室) 福原義雄(竹細工教室) サロン中村、カットハウスなみき、星野紀美子(散髪) ハートフルハーフ まつぼっくり

### 【ふれあい訪問】

野崎幼稚園 西那須野幼稚園 親園小学校 紫塚小学校 下野会

### 【イベント協力】

親園消防団 実取老人会



小規模

# 心より感謝いたします

## 編集後記

「晴風園だより」の原稿作成にご協力をお願いいたしました皆様、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。昨年年度は東日本大震災・原発事故と不安な気持ちから始まりましたが、晴風園職員一同、一丸となり無事の一年を過ごすことができました。今年度は二十床、増床されました。今後とも晴風園を宜しく願います。



## 競輪補助事業完了のお知らせ

この度、平成23年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

- 1、事業名 平成23年度福祉車両の整備補助事業
- 1、事業の内容 移送車1台
- 1、補助金額 1,350,000円
- 1、実施場所 栃木県大田原市下石上1258番地
- 1、完了年月日 平成23年7月27日

社会福祉法人至誠会  
理事長 手塚 秀夫  
財団法人JKA様、ありがとうございました。

